



- ▶ 近年、豪雨の頻発化や地震災害の多発化に伴い災害被害の激甚化が見られ、昨年の7月豪雨でも熊本県の球磨川など甚大な被害を及ぼす自然災害が近年発生しています。「施設では防ぎきれない大洪水は発生するもの」へと意識を変革し、社会全体で洪水氾濫に備える「水防災意識社会」を再構築することを目的に第4回 野洲川地域安全協議会を開催しました。
- ▶ 概ね5年以内で実施する取組内容等を取りまとめた「取組方針」が令和2年度をもって策定から5年を迎えたため、取組対象期間の再設定を含めた取組方針の見直しに関して意見交換を行いました。



- 日 時：令和3年5月6日（木）14:00～15:30
- 場 所：Web会議形式
- 参加者：近江八幡市長、草津市長代理（副市長）、守山市長、栗東市長、甲賀市長、野洲市長、湖南市長、滋賀県知事代理（流域政策局長、防災危機管理監）、滋賀県南部土木事務所長、滋賀県甲賀土木事務所長、彦根地方気象台長、琵琶湖河川事務所長



【議事内容】

- 前回の協議会の振り返り
- 取組方針（案）の見直しについて
- 構成機関による主な取組内容について
- その他情報提供

各委員からの意見・要望

- 浸水想定区域図は1/1000確率規模を対象として作成されているが、これだけの浸水被害が発生する可能性があるというのであれば、ハード整備のレベルも上げていくべきではないか。（守山市）
- 河道内の対策と堤内側の避難などの対策を総合的に考えていくことが重要であると理解している。外水氾濫については1/1000確率規模として野洲川流域の1日間総雨量663mmを対象としているが、対象とする降雨量は、外水と内水で統一的に考えていく必要があるのではないか。（湖南市）
- 昨年度は、青土ダムにおいて濁水が発生し、緊急的に堤防を作り貯水する等の対応をした状況であり、事前放流の損失補填について可能な限り詳細に協議を進めていく必要性を感じている。（甲賀市）

各機関の取組内容を共有しました。引き続きより一層目標に向けた取組を進めていきます。

